

2022/4/15~5/11 『ピサンピーク 6091m』(アンナプルナ山域)

メンバー:酒井し、

ガイド:ゲルジュ(50歳)チュルとパチェルモ2回、そして今回で4回目

ルクラから徒歩2日のヘイワ村在住

全行程ポーター:カッパ(30歳)ヘイワ村在住

マナンからのポーター:ニーマ(40歳)前回と前々回のパチェルモにも同行・ヘイワ村在住

ドルジュ(25歳)ゲルジュの長男・ヘイワ村在住

2年前の4月に行く予定でマレーシア航空Eチケットを買ったが、コロナで延期。その予約を変更し、やっと出発できた。往復航空券10万円。

4/15 成田 10:20 発マレーシア航空 71 便でクアラルンプール 16:45 着。空港外に出るとホテル隔離となるので、トランジットのベンチでツェルトにくるまって寝る。

4/16 クアラルンプール 09:10 発マレーシア航空 170 便でカトマンズ 11:45 着。ネパール入国は接種証明書とネパール政府書式(ネットで事前に打ち込んだ書式のプリント)だけでOKとなった。15:00 サムサラホテルでニーマ AFT 社長及びゲルジュガイドと打合せ。現地費用 3,400ドル支払う。荷揚げは、ベシシャハールからジープでピサン迄、ポーター2名で上げる南ルートを主力とし、本隊はジョムソン空港から3名でトロンラ峠を越えて高度順化しながら北からピサンに入ることに決定。

4/17 ゲルジュガイドと共にカトマンズ 07:00 発のエアコン付バスで 16:30 ポカラ 820m 着。ホテル泊。

4/18 ポカラ空港 06:50 発タタエアーは現地強風のため4時間遅れで 11:00 発となったが40分飛行でジョムソン 2720m 空港着。バスで来たカッパと合流。強風のなか、カリガンダキ川に沿って登り自動車道路をショートカットするトレースを登り、20:00 ムクティナ着。ロッジ泊。

4/19 高度順化。同ロッジ泊。

4/20 ムクティナ 3694m を 09:00 出発。登山道を登り 12:00 チャンバブフ 4280m 着。ロッジ泊。

4/21 高度順化。4700m キャンプは「水が無い」と地図に書いてあるので、ゲルジュとカッパが偵察兼荷揚げに出る。雪渓があるので使えそうとのこと。

4/22 10:00 チャンバブフ 4280m 発。13:00 に 4700m キャンプ着。避難小屋があるので、そのなかにテント1張設営。雪を解かし水作る。テント泊。

4/23 07:00 に 4700m キャンプ発。トロンラ峠 5416m を越え、19:30 に 5,000m の岩小屋着。その日にペディ小屋 4545m にはたどりつけず。高度順化不十分なのに 5400m を越えるのは、計画上無理があった。とにかく疲れた。有人の岩小屋があつてよかった。ラーメンを作ってくれたが、疲れすぎて食べられず。

4/24 07:30 岩小屋発。ペディ小屋 4545m を経てレダー 4200m のロッジ泊。

4/25 レダー 07:30 発。マナン 3500m ロッジ 14:00 着。ヤクホテル泊。マナンまでベシシャハール付近の水力発電所から電気が来ている。携帯電波塔もあり現地携帯(GSM)通じる。

4/26 08:00 マナン発。ギャル 3700m に 15:30 着。ロッジ泊。ここでニーマとドルジェと合流。

4/27 08:30 ギャル発。13:45 BC:4380m 着。BC 泊。

4/28 高度順化。BC 泊。

4/29 08:30BC4380m 発。晴れ。14:25C1: 5400m 着。夕方から雪。C1 泊。ここは現地携帯通じる。

4/30 高度順化。朝は晴れだが寒い。午後は雪。C1 泊。

5/1 早朝にポーター 2 名がデポした 200m ロープを持って上がってくる予定だったが、来ず。寒いので下に下りたとのこと。結局、午後に到着。この日は C2 に移動できず、高度順化日。C1 泊。

5/2 08:30C1 発。上部の岩場に半年ほど前のフィックスロープあり。使わせてもらう。

13:30C2:5700m 着。C2 泊。

5/3 06:00C2:5700m 発。晴れ。マイナス 15 度程度。薄い岩片に薄く雪のついた崩れやすい所を 3 時間ほど登るとケルンがある。たぶん、5,950m。そこから、ピサンピーク 6091m の 100m 程手前の急斜面をゲルジュが登ろうとしたが、グズグズの岩くずに 30 cm ほど軟らかい雪がついているだけで、スノーバーもアイスクリュウも入らず支点が取れない。ここで引き返すことに決定。下りは、雪をどかして岩を出し、ロックハーケンを打って支点にして、確保してもらう。50m ロープ数回で安全地帯に下りる。11:00C2:5700m 着。あと 3 週間ほど早く来れば、雪と氷を利用して登れたかも。C2 泊。

5/4 08:15C2:5700m 発。13:30BC:4380m 着。BC 泊。

5/5 06:30BC:4380m 発。09:00ピサン村着。林道を歩く。15:30 に 2600m のコト着。ロッジ泊。1800m 一気に下りたので足が痛くなる。

5/6 07:30 コト発。09:30 ティマン着。雨が降り始める。林道を下っていると乗合ジープが来たのでカッパが交渉して乗せてもらう。ベシシャハールまで一人 2,500 ルピー(円)。キャビンに 6 人乗っているところに私が割り込ませてもらう。2 人は荷台に。歩くと 1 日半のところを数時間で下れた。未舗装の悪路でたまに転落するらしいが、歩くよりよい。14:00 ベシシャハール着。ロッジ泊。

5/7 07:30 ベシシャハール発。乗合ハイエースで 15:30 カトマンズ着。サムサラホテル泊。

5/8 09:30AFT 社ニーマ社長とドクター及びナースがホテルに来て PCR 検査してくれる。19:00 頃、Star Hospital Lab. の陰性証明書と厚生省書式証明書が出来たので、ホテルに届けるとの電話あり。AFT 社ダワが届けてくれた。

5/10 カトマンズ 12:45 発マレーシア航空 9118 便でクアラルンプール 10:05 着。クアラルンプール 20:50 発マレーシア航空 9118 便で

5/11 成田 07:05 着。

風薫るアンナプルナに別れ告げ

酒井そうた